

## 意見書

兵庫県知事 齋藤 元彦 様  
兵庫県教育長 藤原 俊平 様

丹波篠山市

兵庫県では、令和4年(2022年)3月、県立高校教育改革第三次実施計画を策定され、発展的統合が進められることとなり、丹有地域においても令和7年には4校を2校に統合・再編することを公表するとされています。これを受けて、丹波篠山市においては、県立高校の在り方について市民あげて議論を重ね、次のとおり取りまとめましたので、丹波篠山市の意見として申し上げます。

### 記

#### 1 3高校は宝です

丹波篠山市に特色を有する県立の3高校があることは、大きな財産であり教育的役割を果たしています。篠山鳳鳴高校は、150年の歴史を持ち、卒業生は各界で活躍、その名は全国に知られています。篠山産業高校は、地域を担う多くの人材を輩出、専門的知識や技術を学び、市内外の企業から高い評価と信頼を得ています。篠山東雲高校は、小規模校の良さを生かした個別性重視の教育と丹波篠山市の基幹産業である農業や自然環境への取組で評価が高く、地域振興に大きく貢献しています。

したがって、この3高校をでき得る限り存続してほしいというのが市民の願いです。

#### 2 当面は2校とする

兵庫県において、発展的統合がやむを得ないのであれば、当面は、篠山産業高校と篠山東雲高校を統合し、これと篠山鳳鳴高校との2校として、それぞれの更なる教育環境の充実と教育内容の改善を図っていただくことを強く願っています。

以下について、高校の校長はじめ先生方を中心に、そして、市・市議会、市民が一丸となつてとともに取組を進めたく考えます。

(1) 篠山鳳鳴高校について

- ① STEAM 探究科や単位制の導入により学びの充実を図ろうとする取組を進めるとともに、学力の更なる向上に努める。
- ② 2006 年第 61 回国民体育大会「のじぎく兵庫国体」のホッケー競技開催市を賜って以来、市民スポーツとして定着したホッケー部の設置をはじめ、部活動により自己実現をめざす生徒が、希望する部活動で活躍できるよう、体制を整備する。
- ③ 丹波篠山市や市民との連携を強め、地域探究による地域活動の調査や探究、市内のイベントにおけるデカンショバンドや書道部のパフォーマンスなど、丹波篠山市の高校としての存在価値を高める。
- ④ そして、上記①から③までの活動をはじめ、進学や就職の実績など、生徒が明るく元気に活躍している様子をわかりやすく市民や小・中学生に伝える。
- ⑤ 丹波篠山市に根ざした魅力ある学校であるよう、管理職をはじめとした教職員の配置に配慮する。

(2) 篠山産業高校と篠山東雲高校の統合校について

- ① 篠山東雲高校の農業や自然環境の取組は、全国的にも高い評価を得ており、黒豆、山の芋などの特産振興、畜産振興、河川の自然環境や里山の保全活動などの活動を統合後にあっても特色として継続発展を願う。
- ② 篠山東雲高校の一人ひとりを大切に、社会に羽ばたく教育を統合後の新設校においても生かし、特に、発達に課題を有する子どもの成長発達を引き続き支援し、通級制による指導を充実する（篠山東雲高校のキャッチフレーズは「伸び率ナンバーワンの学校」）。
- ③ 専門学科と専門性を生かした教育内容の充実と教育環境の整備充実により、就職や進学の実績を更に高める。
- ④ 本市スポーツ振興官である長澤宏行先生の指導による野球部をはじめ、生徒の自己実現を図る部活動の整備充実を努める。
- ⑤ 電気建設工学科による「丹波篠山の家」の設計や市の公園における東屋等の建築、農と食科による特産を生かしたスイーツの取組、市のイベントにおける吹奏楽部の演奏等、統合後も市や地域とのつながりを深める。
- ⑥ 魅力あるデザインの制服を採用するなど、心理的・感覚的にも選ばれやすい高校とする。
- ⑦ そして、上記①から⑥までによって、生徒が明るく元気に活躍している様子を市民や小・中学生にわかりやすく伝える。
- ⑧ それぞれの高校の特色が最大限生かして魅力ある学校ができるよう、管理職をはじめとした教職員の配置に配慮する。

### 3 将来においては、1校に統合する

前述のとおり、当面は2校の体制として、その充実を図ることとしますが、そうしたとしても、10年後である令和16年（2034年）の高校1年生は、市内全体で約240人となり、篠山鳳鳴高校の定員160人、篠山産業高校の定員160人の合計320人を大きく下回ります。従って、学力の維持、部活動の充実、学校全体の活力などから、将来的には1校に統合すべきと考えます。

このとき、以下のような事項に配慮をお願いします。

- ① 進学を選ぶことも就職を選ぶこともできる統合校とし、丹波篠山市内の中学生はもちろん、市外からもめざされる質の高い高校とする。
- ② そのためには、国際教育、ふるさとを担う教育、環境教育など、次世代における大切な教育内容を取り入れ、特色のある教育とする。
- ③ 生徒が希望する部活動で活躍できるよう配慮し、各生徒が自己実現のできる部活動となるよう整備充実する。
- ④ 市内小学校・中学校との連携を図るとともに、市・市議会や市民との連携を更に図り、文字どおり地域の高校、ふるさとを担う高校とする。
- ⑤ 校名は、庶民にも教育の門戸を開いて教育に力を入れ、社会や地域に貢献する人材を輩出してきた篠山藩に由来する「鳳鳴」の名前を、丹波篠山らしさを持続する市民全体の価値として未来に残すべきだとする意見が多い。
- ⑥ 最後に、1校としたときの校舎は、現篠山鳳鳴高校、現篠山産業高校の場所では用地が狭いことに加え、統合校では新たな魅力が期待されていることから、新築とする。統合の場所は、利便性が高く、市内外から生徒が通学しやすいことから、JR篠山駅周辺が望ましいとの声が多い。なお、そのときは、市の東部をはじめ市内各地からの通学への配慮が必要となる。

### 4 まとめ

丹波篠山市としましては、兵庫県とともに市内の子どもたちが魅力的な高校教育を受けられる環境を作っていきたいと考えています。以上のとおり、当面は2校としてその充実を図りますが、将来、1校に統合する場合には、市民と子どもたちの願いと期待に添う、より質の高い教育環境と新時代の到来を見通した教育内容を有する新統合高校の誕生をめざすものとしします。

